

CMCとの団体交渉を開催し 職場の現実を訴える！

12月10日、JR東海労名古屋地本はJR東海会社の安全とサービスを支える、グループ会社であるセントラルメンテナンス株式会社（CMC）と団体交渉を開催した。

団体交渉開催にあたり組合側を代表して山田委員長より、「私たちの要求に基づいて今回、団体交渉開催して頂いことに感謝を申し上げます。」と挨拶を行い、職場の安全と労働条件改善がJR東海のさらなる発展につなげるために職場改善の議論を行った。

団体交渉出席者

組合側 山田委員長、今井副委員長、中西三重県協議長、谷口伊勢運輸区分会副分会長

CMC側 辻村車両事業部担当部長、守屋人事部人事課長、下野人事部勤労課係長
木下人事部担当部長

CMCへの申入れと回答と議論

1. 翌日の作業を安全に行うために、泊まり勤務者の寝室を全室個室にすること。

回答：すでに一人一部屋になっている。

組合：実施はいつから行うのか。

会社：12月1日から実施している。

組合：今の説明では見習いが居る場合は二人になるのではないか。

会社：JRに借りている設備なので限界はある。現在の所は現状のままをお願いしたい。

組合：CMCの問題あれば、所長に話をすれば改善するのか。

会社：問題があれば言ってほしい。

組合：寝室ベットのカーテンを直してほしい。

会社：管理者に話しているのか。現場で話してほしい。

組合：会社から指示はしないのか。言えば直してもらえるのか。

会社：原則はJR設備でありなんでも出来るわけではない。必要があればCMCが直すこともある。

組合：今後、問題が発生したら現場の所長に話をすればよいのか。

会社：話を聞く事は出来る。

2. 詰所のトイレが男性、女性の入り口が一緒になっていて隣り合わせの個室になっているのでプライバシーが守れない。別々のトイレを作ること。

回答：すでに関係箇所から要望を受けており検討中である。

組合：トイレが男女が分かれていないので、プライバシーが守られない。特に女性の社員の方は困っている。男子用と女子用の入り口と壁による仕切りは出来ないのか。

会社：JRの設備なの課題がある。

組合：JRに要望はしないのか。

会社：改善をお願いをしている。

3. 洗浄機能つき洋式トイレを設置すること。

回答：すでに関係箇所から要望を受けており、具体的な対応方は検討中である。

4. CMC社員の駐車場を確保すること。確保できない場合は、事業所近くの月極駐車場を借りる料金を会社が支払うこと。

回答：社員用の駐車場確保は出来ない。新たに近隣の駐車場を借りるなど新たに確保する考えはない。

組合：災害時など自力出勤が求められた時に場所がない。自腹を切って駐車している社員もいる。5台分くらい確保は出来ないのか。

会社：駐車用の敷地は確保されていない。

組合：以前は所長が止めていた。

会社：緊急時には建物の前に止めてもらっても良い。ただし事前に管理者の指示を受けてもらう必要がある。

組合：車両区に置くことは無理か。話は出来ないのか。

会社：JRは車通勤を認めているのか。

組合：有料駐車場を借りた時は面倒を見てほしい。

会社：現場が判断して指示があれば良い。

5. 列車遅延を把握し、間違いのない作業を行うため詰所にTIDモニターを設置すること。

回答：TIDの設置は出来ない。現状対応されたい。

組合：列車の遅れについて詰所には連絡が入らない。

会社：テレスピで連絡がないのか。

組合：何を言っているのか聞こえない状態であり役に立たない。

会社：テレスピが聞き取れないのか。

組合：テレスピは聞き取りにくい。こちらから聞いても良いのか。

会社：どこと繋がっているのか。遅れていたら管理者から確認してほしい。

組合：その時に管理者が居ない時があるので困る。改善すること。

6. 清掃用の靴、ポイント清掃の靴がありヘルメットもロッカーにしまうため、2つロッカーがあっても入りきらないほどのものがある。ロッカー室以外に下駄箱を設置するかロッカーの上にももの置けるようにすること。

回答：ロッカーは現状で対処されたい。

組合：ロッカーに靴を入れている。雨に濡れた靴とか油で汚れた靴も入れている。問題である。

会社：濡れた靴は乾燥室で乾かしていないのか。

組合：JRではロッカーの上に入れるスペースがあった。ロッカーに入れるのは衛生面で問題ではないか。

会社：靴を入れることは問題ではないと考える。

組合：服と靴は別々にするべきである。

会社：ロッカーを2つ貸与しているところは他にない。

組合：ロッカーを一つにして、げた箱置くことは困る。何とかするべきである。

7. 近鉄での出張時に個人に切符代の立て替えをさせないこと。

回答：現行通りとする。

組合：出張時の旅費はあらかじめわかっているのだから立替えは止めて、事前に出すべきである。

会社：JRは翌月だが翌週に支払っているのでJRより早いのではないか。

組合：近鉄での出張があるが翌月の支払いになっている。

会社：出張費は立替え払いが原則である。

組合：JR利用の場合は回数券を利用が良いが、それ以外の場合、立て替えている。パートに人たちはお金を借りて行く人もいる。

会社：その様な場合は現場で話をして貰えば良い。

8. ポイント作業の安全確保をするために、見張り員以外に携帯列車監視システムを確立すること。

回答：現状で対応されたい。

組合：命がかかっている。列車の遅れ把握、異常時連絡の為に他の方法も含めて会社として検討すべきである。

9. 社員が他の事業所への転勤を希望した場合は希望を叶えること。また、出向者の単身赴任は早急に解消すること。

回答：人事運用は業務上の必要に応じて行うものである。

組合：単身赴任での出向者がいる。居住地に近い現場に転勤させるべきである。

会社：簡単に出来ることではない。現場の要員によって決めるものである。

組合：出向社員の人事運用はCMCが決めるのか。

会社：基本的にはJRと協議して決める事になる。

組合：本人・家族にとって単身赴任は大きな負担となっている。早急に本人の希望を叶えること。

最後に今後もCMC職場の諸問題について継続して議論していくことを確認しCMCとの団体交渉を終了しました。